

令和4年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 分科会（第2回）

会議の概要

- 会議名 令和4年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 分科会（第2回）
 - 開催日 令和4年8月30日（火曜日）
 - 出席状況 東京都、港区、新宿区、江東区、品川区、目黒区、大田区、渋谷区、中野区、豊島区、北区、板橋区、練馬区、江戸川区、国土交通省
 - 議事の要旨
 - * 国土交通省より、騒音測定結果や部品欠落報告等についての説明
-

【主な意見及び国の回答等】

- ・ 部品欠落報告の中で、1 kg 以上のものが1つあったが、この詳細についてお聞きしたい。
安全確保上問題ないものだったのか。
⇒タイヤの一部と聞いている。着陸も離陸も安全に行っており、安全上特段の問題はなかった。なお、当該部品については空港の敷地内で見つかっている。
- ・ 2020年の新飛行経路運用開始に伴ってチェック要員を2チームから3チームに増員したというお話があったが、今後、航空便が復便し、便数が増えてきた際にもこの体制で十分に対応できるという理解でよいか。
⇒国内線については、100%近く復便しているところ、国際線が復便しても、現在の体制にて継続して空港事務所の担当職員が機体チェックを行うことができると考えている。今後も引き続き、部品欠落、氷塊落下の未然防止の観点からしっかりとチェックを行っていく。
- ・ 都に寄せられた意見として、騒音、安全性に関する件数が多かったと認識しているが、区でも同様に騒音と安全性についての問い合わせが多い状況である。加えて、現在も部品欠落が発生している状況である。これからも引き続き、安全性と騒音対策についてこれまでの取り組みをお願いするとともに、歩みを止めることなく、技術革新に合わせた更なる取り組みを進めていただくことを要望する。
⇒ご要望として承る。国としても、安全対策と騒音対策については、技術の進歩に伴う新たな方策を日々検討して参りたい。